

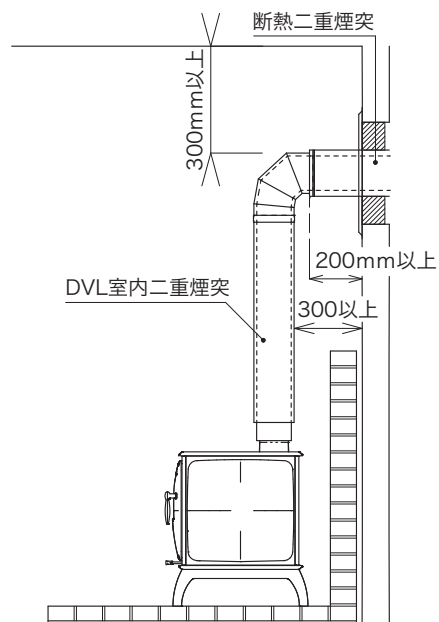
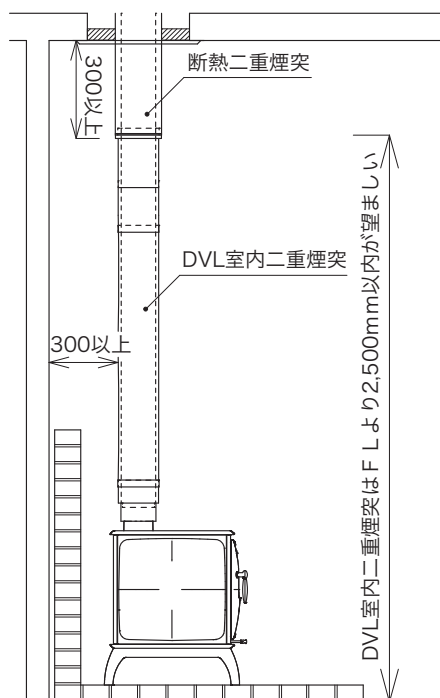
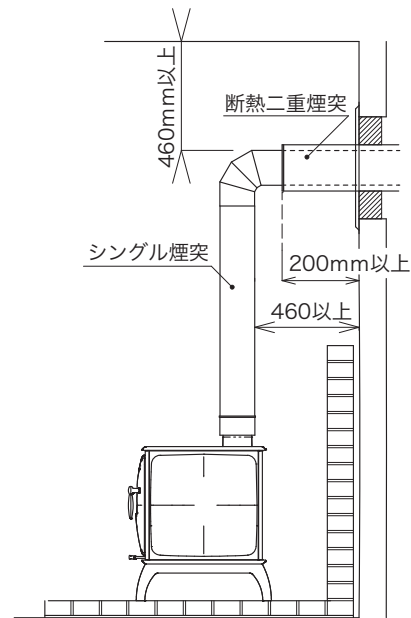
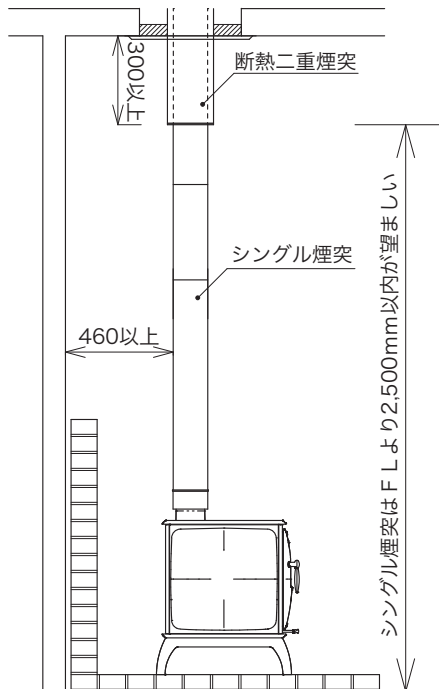
室内煙突の設置について

□ 室内煙突設置の際には下記の安全基準が満たされるように取り付けを行ってください。

煙突クリアランス

- ・ シングル煙突と可燃壁（物）とのクリアランス ----- 460mm以上
- ・ DVL 室内中空二重煙突と可燃壁（物）とのクリアランス ----- 300mm以上
- ・ Duratech 断熱二重煙突と可燃壁（物）とのクリアランス ----- 125mm以上

※ シングル煙突や DVL 煙突の接続は、点検のために容易に取り外しできるように取り付けて下さい。
 ※ シングル煙突や DVL の様な室内煙突は、長すぎると排気温度が下がり、煙突内のドラフトが弱くなるに伴いススやタールが付着しやすくなります。



～建物の内装の仕上げに関する法令～

- 建築基準法施行令第百二十九条第一項第2号
- 国土交通省告示第二百二十五号

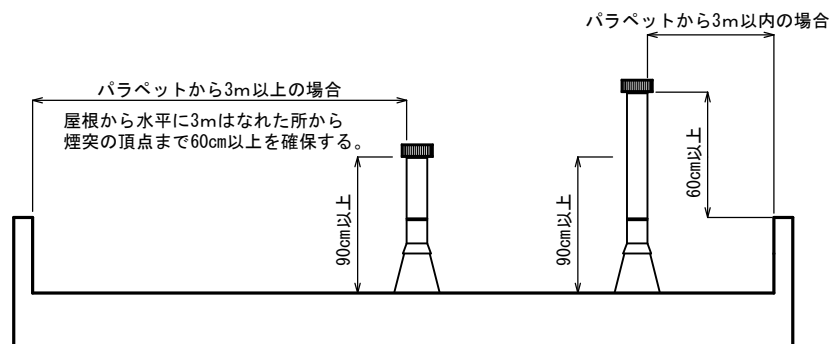
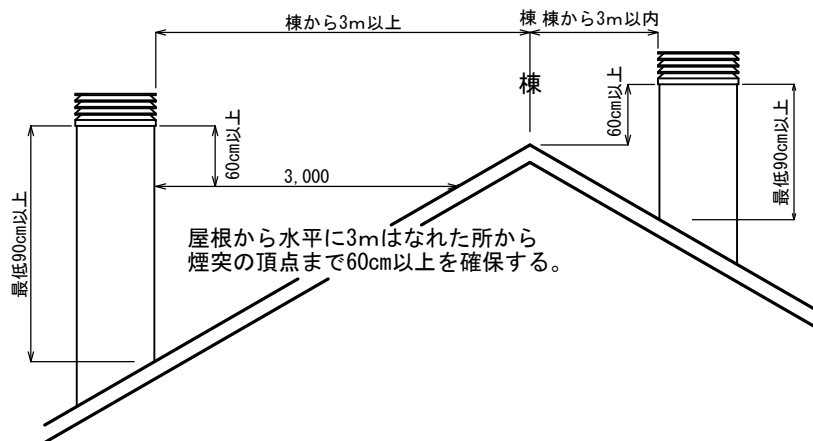
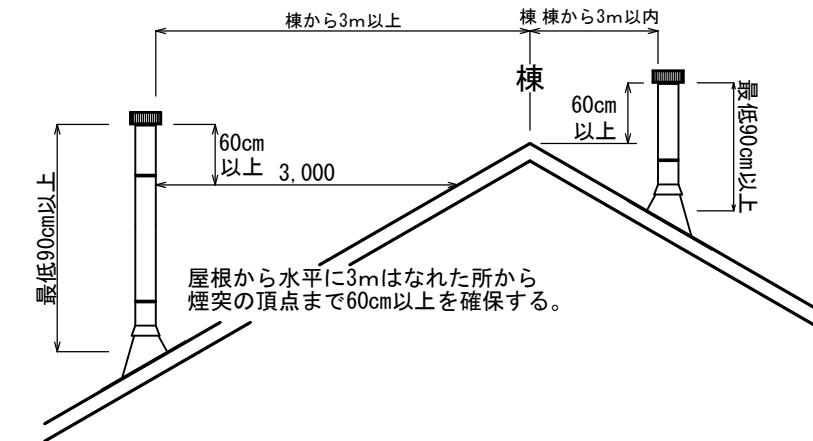
～消防法においては下記を参照してください～

- 火気使用設備の位置、構造および管理の基準について
- 消防法第9条、消防法施行令第5条、条例制定基準省令第2章
- 火災予防条例 3, 5, 6, 18, <別表3>, 19

□ 外部煙突の高さ

□下記の図のように設計をお願いいたします。

—屋根上部の煙突の高さは、必ず上記のルールをお守りください。(煙の逆流防止、火災防止) —



●IRON Dogストーブの煙突は12Pa(パスカル)のドラフトを確保してください。

但し、No4はは13Pa(パスカル)を得られる煙突高さを確保して下さい。

●HWAMストーブは12Pa(パスカル)を得られる煙突長さを確保して下さい。(最低4.5m以上)。

注意点

これらの事は、煙突が充分なドラフト(排気上昇)を得て、各々のストーブが理想的な燃焼をするために必要な長さです。

また、気候条件や建物の立地条件によっては、更に煙突を伸ばす必要があります。

ドラフトと同時に安定的な燃焼空気が供給されることも注意下さい。

※煙突最低高さの基準はチムニーキャップ下端までとして煙突プランニングしてください。

～参考資料～

- 建築物に設ける煙突に関する法令
- 建築基準法施行令第百十五條第一項第2項
- 国土交通省告示第1168号